

IH対応2WAYマルチパン 取扱説明書

アルミニウム合金・ふっ素樹脂加工・IH対応・ガラス蓋付（シリコーンゴム縁リング・シリコーンゴムつまみ付）
天ぷら揚げ物OK・水抜き穴なし・着脱ハンドル式・シリコーンミトン付

△ お手入れ方法

- ご使用前に
 - 製造上、内面は細かい汚れが付着している事があります。最初に使用する時は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、すすいでください。
- ご使用后は
 - ご使用後は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、水気を拭き取り乾燥させてください。お手入れが不十分ですと白い汚れが付着してきますが、水道水中の微量成分が残留したものです。人体に入っても問題ありません。
 - スチールたわし、磨き粉等を使用しないでください。
 - 焦げ付き等を落とす場合は、金属製の固いものを使用しないでください。お湯に浸して焦げ付きを柔らかくしてから取り除いてください。
 - 塩分や酸等を含んだ汚れを付着したまま放置したり、湿気の多い場所での保管は腐食発生の原因になります。
 - 鉄等の異種金属に製品を接触したまま放置しないでください。腐食発生の原因になります。
 - お手入れが不十分だったり、内容物を入れたままにしておきますと、ふっ素樹脂加工がはがれたり、ぶつつぶつ状になる場合があります。又、こびりつきやすくなります。ふっ素樹脂加工は、食品衛生法に適合したものを使用していますので、人体に入っても問題ありません。

※焼き物、炒め物料理をする場合は、ご使用ごとに薄く油を引いて調理しますと、ふっ素樹脂加工が長持ちします。

<着脱ハンドル>

- 着脱ハンドルの丸洗いはしないでください。水が入り動きが悪くなる場合があります。
- 着脱ハンドルは、水を含ませよく絞ったふきん等で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくい時は、ふきん等に薄めた食器用洗剤を含ませ、よく絞って汚れを拭き取ります。次によく絞ったふきん等で水拭きし、最後に乾いた布で水気を拭き取ってください。

△ 注意

- シリコーンゴム部は、変色する場合がありますが、ご使用上問題はありません。
- 最初に使用する時はシリコーン特有の臭いを感じる場合がありますが、ご使用上問題はありません。臭いは時間の経過に伴い薄れていきます。
- 耐熱温度以内で使用してください。

△ シリコーンミトン（取外式）の取扱上の注意

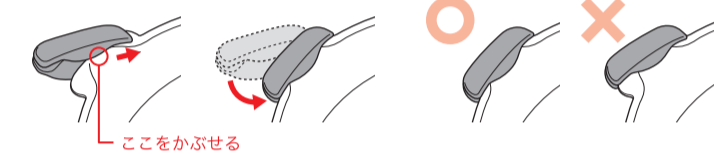
- 本製品本来の使用目的以外には使用しないでください。
- 耐熱温度以内で使用してください。
- コンロ等、火のそばに置かないでください。
- シリコーンミトンを取付けたまま調理しないでください。シリコーンミトンが熱くなり、ヤケドの危険があります。
- 調理直後は取っ手が熱くなっていますので、シリコーンミトンを取付ける時は、十分注意してください。
- シリコーンミトンに食品の油脂が付いた場合、滑りやすくなり脱落してヤケドの危険があります。取扱には十分注意してください。
- シリコーンミトンを取付けて使用する時は、取っ手にしっかりととはまっている事を確認してください。（取付け方法参照）
- 変形、破損した場合は修理や改造等をせずにご使用を中止してください。
- 変色する場合がありますが、ご使用上問題はありません。
- シリコーン特有の臭いを感じる場合がありますが、ご使用上問題はありません。臭いは時間の経過に伴い薄れていきます。
- 食器洗浄機や食器乾燥器をご使用の際は、機種の取扱説明書にそって正しく使用してください。

使用材料/シリコーンゴム
(耐熱温度200度)

MADE IN CHINA

<取付け方法>

- シリコーンミトンには上下があり、図を参考にシリコーンミトンの端から取っ手にはめてください。



- 調理直後は取っ手が熱くなっていますので、シリコーンミトンを取付ける時は、十分注意してください。

△ 強化ガラスの取扱上の注意

- 高い所から落とす等、急激な衝撃、強い衝撃を与えないでください。
- 耐熱ガラスではありません。蓋が熱いうちに水に浸ける、又は水をかける、濡れた布で触れる等、急激な温度変化は避けてください。破損する事があります。
- たわし又は磨き粉のご使用等、傷が付くような取扱は避けてください。
- 破損した場合、破片が細片となって激しく飛散しますので注意してください。
- 蓋をずらす等、蓋に直火があたるようなご使用はしないでください。ガラスの一部のみに炎の熱が加わり、破損の原因になります。
- 蓋以外には使用しないでください。
- 電子レンジやオープンに使用しないでください。
- 食器洗浄機や食器乾燥器には使用しないでください。白く濁ったり、割れる事があります。

※落したり、傷が付いたり、直火にあててしまったガラスは、外観上異常がなくても「強化処理」をした表面のバランスが崩れ、ある日突然粉々に割れる事がありますのでご使用を中止してください。

品名/強化ガラス製器具
強化の種類/全面物理強化

商品のお問い合わせに
対応させて頂くため、ここに
ラベル又は品質表示を
貼ってください。

※製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更する事があります。

IH-Multi-O7改1

100-200V熱源対応 2WAYマルチパン (ガラス蓋付)

共通 取扱説明書

この度は、お買い求め頂きまして誠にありがとうございます。この商品は家庭で調理するために使うものです。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。お読みになった後は、必ず保管してください。

この取扱説明書は本体に付属のラベル又は、品質表示と一緒に必ず保管してください。

商品、取扱説明書の不明な点についてのお問い合わせ先

和平フレイズ株式会社
〒959-1292 新潟県燕市物流センター2丁目16番地
0256-66-8511 [アフターサービス係]
https://www.wahel.co.jp

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土日・祝日は除く)

Q&Aはこちら



※ご使用前に必ず各部に異常がない事前に確認してください。

△ 注意 調理中は場所を離れないでください。火災の原因になります。

△ 注意 ご使用のコンロ・ヒーターの取扱説明書にそって正しく使用してください。

△ 注意 着脱ハンドルは本品専用です。用途以外には使用しないでください。

△ 注意 着脱ハンドルは移動を目的としています。

△ 取扱上の注意

- 万一の落下を考え、着脱ハンドルを取付けたままの移動は最短をお願いします。
- 着脱ハンドルを取付けて移動する時は、固定された事を確認してからしっかりと握ってください。
- 着脱ハンドルを取付けたまま、強くおったり、振り回したり、急激な動作はしないでください。
- 着脱ハンドルは絶対に分解しないでください。
- 鍋を持ち上げたまま着脱ハンドルの取付け、取外しをしないでください。
- 着脱ハンドルを取付ける時は、油分、異物がない事を確認してください。
- 着脱ハンドルの着脱は安定した平らな場所で行ってください。
- 着脱ハンドルの丸洗いはしないでください。水が入り動きが悪くなる場合があります。
- 調理中や直後は本体、つまみが熱くなっています。ヤケドの危険がありますので、特にお子様の手に触れないように注意してください。
- 鍋はコンロの中央部に乗せて安定させて使用してください。
- 炎が底面からはみ出さないように使用してください。着脱ハンドルを取付けて調理をする場合、着脱ハンドルが焦げて危険です。異臭も発生します。又、隣接するコンロの炎が着脱ハンドルにあたらないように向きを調整してください。
- つまみがゆるんだ状態で使用しないでください。脱落してヤケドの危険があります。つまみがネジ止めの場合、ネジを締め直してから使用してください。
- 着脱ハンドルやつまみの破損に対し、改造や応急処置等の手当てをして使用する事は危険ですのでやめてください。
- 過度の空炊きをしないでください。空炊きは火災や本体の変形、外面塗装の損傷、ふっ素樹脂加工の劣化、つまみの破損やヤケドの原因になります。
- 空炊きをした場合に、水等をかけて急冷しないでください。変形の原因になります。
- 縁まで水等を満たした状態で使用しないでください。

- 吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。ガスの火が消えたり、調理器の故障の原因になります。
- 熱伝導のよいアルミニウムを用いています。火力は中火以下で使用してください。
- 調理後は内容物を保存しないでください。ふっ素樹脂加工の劣化やはがれの原因になりますので他の容器に移してください。
- 多量の酢、重曹等の酸性又はアルカリ性のもののご使用は避けてください。アルミニウムに腐食が生じる事があります。
- ふっ素樹脂加工の表面で材料を刻まないでください。ふっ素樹脂加工を傷付けます。
- 金属製の調理器具は使用しないでください。ふっ素樹脂加工がはがれやすくなります。木や竹、プラスチック製のものを使用してください。
- 高い所から落とす等、急激な衝撃を与えないでください。破損や変形の原因になります。
- ストープの上では危険ですので使用しないでください。
- オープンは250度以下で使用してください。
- オープンで使用する時は蓋、着脱ハンドルを外してください。破損の原因になります。
- 電子レンジでは使用しないでください。電子レンジの故障や火災の原因になる事があります。
- 効率良く加熱して頂くために、鍋の底に付いた水滴、異物や調理カス、汚れ等はきれいに拭き取ってください。

天ぷら・揚げ物料理をする場合

- 鍋が濡れた状態のまま油を注がないでください。加熱により油が飛び散りヤケドの危険があります。
- 調理中は、絶対にそばを離れないでください。火災の原因になります。場所を離れる時は、必ず火を止めてください。
- 油温を200度以上に上昇させないでください。又、火力は必ず中火以下で使用してください。油が引火する原因になります。
- 油の加熱中に蓋をしないでください。油の温度が急激に上がり、蓋を開ける際に炎が引火して火災の危険があります。
- 調理中に油のつぎ足しをしないでください。火災の危険があります。
- 少量の油で揚げ物をするときも発火する恐れがあります。油量は適量にて使用してください。
- 調理中は油の飛び散りに注意し、顔を近づけないでください。ヤケドの原因になります。

※揚げ物モードで使用された場合、反応しにくく適正な温度設定にならないという現象が出る場合があります。このような場合には、油の温度に十分注意し、通常の加熱モードで使用してください。

着脱ハンドルを取付けて調理をする場合の注意!!

- ガス火でご使用の場合、火力に十分注意してください。
 - ・火力が大きい場合、着脱ハンドルの樹脂が焼損し、異臭が発生します。又、正常に使用できなくなる恐れがあります。
 - ・炎が底面からはみ出さないように使用してください。隣接するコンロの炎が着脱ハンドルにあたらないように向きを調整してください。
- 長時間の加熱、調理をする場合は着脱ハンドルを取外してください。
- 着脱ハンドルはオープン、電子レンジには使用できません。

温度センサー付ガスコンロでの注意

コンロの中央部に乗せて温度センサーが確実に沈み込んだ事を確認してください。

- みそ汁等、調理物によっては、調理中・再加熱(温め直し)の際、突沸現象により内容物が噴き出したり、場合によっては鍋が転倒して、ヤケドや物品の破損の危険があります。特に赤だし成分や麺(こうじ)が含まれるみそ、具が少なくなったみそ汁を再加熱(温め直し)する場合には必ず、以下事項を厳守してください。
 - 加熱する前にお玉で良く、かき混ぜてください。
 - 煮立てる際はお玉で良く、かき混ぜながら行ってください。
 - 一気に強火で煮立てないでください。

過度の空炊き厳禁!!

- 過度の空炊きをしますと本体の変形、外面塗装の損傷、ふっ素樹脂加工のはがれ等が発生する恐れがあります。
- 強火で使った場合、急激に温度上昇しますので、中火以下で使用してください。

■下記対応熱源で使用してください。



△ IHクッキングヒーターでご使用の際の注意

※IHクッキングヒーターでのご使用は、必ず中火以下で使用してください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損の原因になります。※IHクッキングヒーターのプレート表面に鍋の跡が付く場合があります。専用クリーナー等で取り除いてください。

- 過度の空炊きをしないで、必ず中火以下で使用してください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損の原因になります。
- 変形やガタツキ等が生じた場合は使用しないでください。
- 鍋はヒーターの中央に置いてください。加熱中に「ブーン」といった音が生じる場合がありますが、IHクッキングヒーターと鍋の振動の波動が共鳴するために生じるもので、鍋の異常ではありません。
- IHクッキングヒーターは電源を入ると急激に鍋を加熱するため、少量の油の場合、数十秒で発火点に達します。そのため、下ごしらえ等少量の油で炒め物を行う場合は、油温が必要以上に上昇しないよう、火力(出力)を「中」以下で調理してください。

※一般家庭用の200V熱源に使用できますが、食堂、レストラン等の業務用熱源で高出力タイプのもものは、変形の可能性がありますので、使用しないでください。

ガス火でも使用できます。